



日本共産党文京区議会議員
まんぢち幹夫 週刊 通信
 2011年6月24日号 No.197

'みなさんをいつもまんぢかに'

区議団控室：5803-1317 (直通)
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

本会議質問で区長が放射能測定について答弁

東京都の線量測定で統一的基準が示されたら、区としても都から線量計を借りて区内の定点測定を約束

20日の区議会本会議、共産 した場合は、放射線量の変化党から2人目の質問者、金子てを比較することができるとるよし議員が質問しました。焦め、本区としても、都から線点の一つになっていった区内の量計の貸与を受け、区内での放射線量の測定について区長 定点測定を行ってまいりまは、「都内100か所の測定結 す」と答えました。ひきつ果を注視するとともに、都が測 づき独自の調査も、求めてい定について統一的な基準を示 きます。



都内での東京都の測定

これからさらに、職員削減、民間委託など「行革」が必要か…

21日は、「自治制度・行財政システム調査特別委員会」でした。「第三次行革」計画が今年度で終わるのを受け、区は来年から5年間の予定で「新たな行革」を策定します。

効果的な事業実施、多様な担い手との協働

健全な財政運営 効率的な庁内体制 職員数などが検討事項になっていきます。



小石川図書館

しかし、12年前から始まった「行革」で、職員数は学校給食、寿会館の廃

国・都などの公有地を福祉や子育て施設で有効活用を

「自治制度特別委員会」では、これからの行財政改革計画で公有地の有効活用や国、都の土地を借り入れるなどの検討が計画されています。

6中に併設予定の西片の向丘地域活動センター、アカデミー向丘の土地が空きます。また移設予定の小石川税務署や小石川3丁目の国家公務員研修センターの土地などがどうなるのか。

保育園や特養ホーム、高齢者住宅やグループホーム...必要な施設は山ほどあります。ぜひ有効活用を。



向丘地域活動センター

止、図書館の委託...など500人余が削減されています。さらに委託、指定管理などで減らすのか? 大いに疑問です。またこの大災害をうけて自治体職員この役割が大きくなっているのに。

- 16日 後援会ニュース「あかね」の編集のkさんと区防災課をたずね話を聞きました。やはり今回の大震災を受けて区としての課題が明らかになってきたようです。
- 17日 朝4時、雨間をついて、「赤旗」日刊紙を配達。この時間でもだいぶ明るくなりました。梅雨が明けると今度は暑さとのたたかいです。
- 18日 午前、「赤旗」日曜版の配達。午後は党の会議。夕方、豊島区のNさんの知り合いの小料理屋さんへ。商売の継続の大変を伺いました。グラタンが特に美味しかったです。
- 19日 夕方、短時間でしたが「原発からの撤退」求める署名行動。まったく知らない方が協力してくれました。

まんぢち日誌